

二部地区活性化だより

野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構

編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159

少子化を憂う

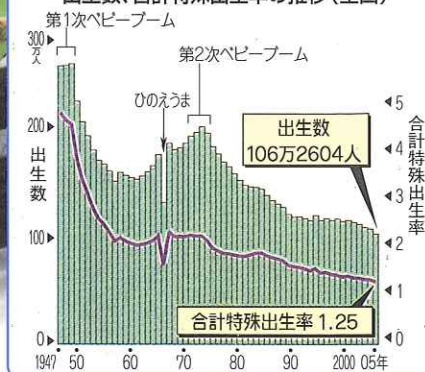
さつきの 蒼空に舞う 鯉のぼり
男児出産を 祝い
鯉の大きさを 竿の高さを 競う
でも その数は 著しく減った
今年揚がった鯉のぼりは
二部谷全体で たった四軒
少子化が進行し
日本人口が減少に転じた
これでは わが国の将来は危ない
産まない理由 産めない理由
国の少子化対策に
期待はもてるか 心配だ

新聞俳壇にこんな句が
「少子化の中空ひろし 鯉のぼり」
逢坂ときわ(大山町)

(日本海新聞平成十八年五月二十三日付記載)

合計特殊出生率 一、二五とは一人の女性が一生に産む子供の数を示す推計値。十五歳から四十九歳までの女性について、年齢ごとに「子供の出生数」を「女性人口数」で割った値を足して計算する。将来人口の増減を予測する指標。長期的人口維持をするには二、〇七が必要とされる。

出生数、合計特殊出生率の推移(全国)



●三部地内の鯉のぼり

平成十八年度 委員総会の開催

伯耆町の発足に伴い広域化した行政区域にあつて、住民が喜ぶ行政サービスは手薄になることが予見されます。これを補完し、真に暮らし易さを実現するためには、我々自主的組織の活動を一段と強化しなければならぬ事態が必要となつて来ています。こうした事にも力点をおき、平成十八年度の活動計画を樹立致しました。

基本的には、従来続けている継続事業の恒常化を目指すとともに、会員各位のご協力で実現できた財政力を生かし、地域環境保全対策の一環として、集落の景観形成花木植栽も継続事業として実施してまいります。この事業の取り組みは二年目となりますが、共有施設等への花木植栽について更なる選定事業をお願いします。

また、河川のヨシ刈りについては、前年度に引き続いて後続集落の立候補を期待します。
部会別事業計画は次のとおりです。

▼平成十八年度事業計画▲

●総務部会

- 一 会報「野上川の風」年二回発行
- 二 先進地視察（一泊二日研修）
- 三 むらづくり講演会の開催
- 四 まちとの交流イベントの企画

●産業振興部会

- 一 畦畔の被覆植物展示圃設置（間地内）
- 二 大山望等への計画的出品販売（二部山菜会の育成支援）
- 三 オキナグサ育苗販売
- 四 集落管農の実験採用

●住みよい環境部会

- 一 上下水道事業の促進（分散集落の合併処理浄化槽の普及）
- 二 景観形成花木（サクラなど）の集落栽培への支援
- 三 町のゴミ減量作戦への協力
- 四 河川ヨシ刈り等ボランティアの実施指導及び協力

●趣味と生きがい部会

- 一 たたらまつり、多々楽学園（高齢者子縁）の支援
- 二 各種同好会活動の助長
- 三 二部谷風景の写真コンテスト継続実施
- 四 園芸講習会の開催（ひょうたん加工講習ほか）

●健康スポーツ部会

- 一 町民運動会、部地区大会への協力
- 二 二部地区健康ウォーキング開催
- 三 健康講演会の開催

●福祉ボランティア部会

- 一 高齢者、障害者への支援活動
- 二 青少年健全育成及び学校行事への協力
- 三 道路・河川一斉清掃の実施（年二回）

平成17年度収支決算書

収入総額	758,230円
支出総額	464,005円
差し引き	294,225円

収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
会 費	189,500	379世帯x500円
補助金・交付金	150,000	県補助金100,000円・町補助金50,000円
繰 越 金	362,724	
雑 収 入	56,006	利息 6円・視察時等徴収額56,000円
合 計	758,230	

支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
会 議 費	23,900	
事 業 費	313,834	総務部費 97,646円 産業振興部費 19,699円 住みよい環境部費 71,121円 趣味と生きがい部費 57,125円 健康スポーツ部費 24,700円 福祉ボランティア部費 43,543円
視察研修費	53,394	
事務局費	22,877	
雑 費	0	
予 備 費	50,000	事務局長退職記念品代
合 計	464,005	

平成18年度収支予算書

収入総額	645,000円
支出総額	645,000円
差し引き	0円

収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
会 費	200,000	
補助金・交付金	150,000	県補助金100,000円・町補助金50,000円
繰 越 金	294,225	
雑 収 入	775	預金利子
合 計	645,000	

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
会 議 費	30,000	
事 業 費	450,000	総務部費 100,000円 産業振興部費 50,000円 住みよい環境部費 100,000円 趣味と生きがい部費 50,000円 健康スポーツ部費 50,000円 福祉ボランティア部費 100,000円
視察研修費	90,000	
事務局費	25,000	
雑 費	5,000	
予 備 費	45,000	
合 計	645,000	

オシム監督に学ぶ

副会長 樋口 春子

サッカー日本代表の監督にオシム氏が就任した。就任以来、彼は選手に「よく考えて、的確に判断し速く走れ」と要求している。練習でも今まで経験しなかったような複雑な動きを取り入れ選手を悩ませているが、「困難を成し遂げるためには、アイデアが必要だ」と監督は教えているのでは…。

自分でしっかり考え、先を見通した的確な判断力、素早く行動するということはサッカーに限らず私たちの生活でもとても大切なことだと私は思う。

この機構が誕生してはや七年。様々な取り組みがなされ成果を上げてきたが、更に住民のものにするため各部がほんの少し創意工夫し、違った視点で取り組むとまた新たなものが出来るのでは。私も人任せではなく、自分の課題として出来ることから先ず実践したいと思う。

皆さんのお力添えよろしく願っています。

二部山菜会の誕生 新会員加入を歓迎

産業部会では町内の産地直販施設、大山望・大山ガーデンプレイス・Aコープ等への産品の継続的な出荷を図る為、地元産品の見通しと手近にある山菜の発掘に取組む為、三月三日に研修会を開催しました。

JAアスパルの近藤店長から、消費者に信頼される直売所を作るためには、生産者（出荷者）はどう取組まなければならないか、と話を聞きました。

その基本は①常に買い手の立場で考え②新鮮、安心、安全な品物の供給③独自性、地域性を最大限に発揮することが大切であることを学ぶとともに、付加価値を高める為の特産加工食品への取組みも必要であると教わりました。

又、米子普及所の木村普及員から「山菜、自生植物で地域興し」をと身近にある山菜への取組みについての話しを聞き、山菜について今少し深く勉強しよう、と、四月五日には間地公民館に二十名余りの興味のある者が集まり情報交換をする中で「二部山菜会」が発足致しました。会員の中には溝口、岸本地区からも参加があり広く伯耆町内での活動が期待されます。

山菜会では手はじめに、四月十二日に旧東伯町で「タラの芽ふかし」の栽培農家を視察、ハウスでのふかしの状況や、種木の栽培ほ場を見学、二部で

も取組んで見ようと、早速苗木の植付けも行いました。又コゴミの親株を日野町の県有林から分けてもらい植付けを試みております。

五月二十九日には会員の女性が中心となり「山菜賞味会」を開催致しました。今回は会員の情報交換、親睦と調理方法の研鑽を目的に行いましたが、会員の他に役場、普及所、JAからも参加いただき、総勢四十名余りとなり盛大に行う事ができました。

参加者からは、出されたものを見て『これは食べられるの？』『これは初めてだ』『あっおいしい』などの声が聞かれました。

会は盛会でしたが、準備には会員の方の材料の採取、下準備、調理、盛付け、配膳と何日も費やしての取組みがあったことを報告しておきます。尚今回は急な計画のため材料の収集が困難な中での開催でしたが、会員の努力で開催できました。

参考までに当日のメニューは次の通りです。

ご飯(筍おこわ) 筍、人參、木の芽揚物(ゆきのした、みつばつぎ、そば菜、藤の花、からすのえんどう、つぎ、のびる、山椒の芽、たららの芽、煮物(筍、わらび、蒨、ぜんまい、さくらしめじ、人參、椎茸)
酢の物(みょうが、いたどり、うど)
おひたし(かけゼリ、三つ葉)
佃煮(くさぎ、蒨)
甘味(しそ、ジュース)
吸い物(松茸)

調理方法は色々あると思いますが、〇〇はこう云う調理もありますとか、またこれも食べられますとか、の情報をお寄せいただければ今後の参考にさせて頂きますので宜しくお願いします。山菜は野山にあるものを採取して出荷すれば良いと言うのではなく、栽培育成を行い計画的な出荷を行う事が収益はもちろん、植生、自然環境保持の面からも重要と思われしますので、二部山菜会ではこれらを念頭に置きながらこれから取組んでいきたいと思えます。

産業振興部会長 藤田 常雄
二部山菜会副会長

(事務局六二一七五一五九)



● 役 員 名 簿 ●

会	長	住田 泰									
副	会 長	谷口 包夫	白根 暢之	樋口 春子							
監	事	中田 英明	谷口みどり								
事 務 局	長	足澤 秀基									
書 記 会	計	忠田 寿子									
部	会 長	田辺 公教	藤田 常雄	影山 辰雄	浅田 泰弘	大森 英一	中田 寿國				
副 部 会	長	和泉 克司	車 睦宏	金田美紀夫	福吉 艶子	其山 守美	山口 秀男				
顧	問	安達 允									

● 部会別委員分担表 ●

◎部会長 ○副部会長

総務部	◎田辺 公教 加藤 正純	○和泉 克司 和田 正純	安達 良文	杉原キヨミ	中田 瑞穂	米原 清治
産業振興	◎藤田 常雄 杉原 弘徳 細田 朋子	○車 睦宏 田村 清	小川 幸子	南葉 正明	金田 宏	山本 厚子
住みよい環境	◎影山 辰雄 西村 喜伴	○金田美紀夫 山口 代子	永井 欣也	梶間 妙子	花田 学	樋口 栄
趣味と生きがい	◎浅田 泰弘 田村 亀雄	○福吉 艶子 野口 由枝	仲田 稜子	八橋 啓子	安藤 勉	畑 嘉夫
健康スポーツ	◎大森 英一 舟越 康夫 南波 英昭	○其山 守美 長尾美喜恵	住田 明穂	安達 恭子	長田 千歳	住田 浩平
福祉ボランティア	◎中田 寿國 安達 哲夫	○山口 秀男 安田 紀恵	山本 富美	大森 紀子	長尾 尚道	澤田 恭輔

活動日誌メモ

(月 日)

(内 容)

(月 日)

(内 容)

平成十八年

出雲街道ウォーキング

間地峠〜舟場

降雪の為にテレビ塔を変更

二〇名参加

山菜研究会

(於) 間地公民館

二部山菜会設立

たら芽ふかし栽培視察

琴浦町 十四名参加

二部山菜会役員会

こごみ株採取 板井原県有林

六名参加

福祉ボランティア部会

(一斉清掃の協議)

役員会(総会对策)

道路河川一斉清掃

三〇五名参加

山菜賞味会

約四十名参加

ひょうたん苗配布

役員会(総会準備)

委員総会

三十三名出席

委任状

村づくり講演会

「乱れる食生活への警鐘」

県食農支援センター

川上一郎理事長

畦畔草生改良実証圃の芝苗植栽

役員会

(各部会所属委員の決定)

畦畔実証圃現地指導会

趣味 ボランティア部会

総務部会

野上川ヨシ刈り打合せ

(環境部会)

健康スポーツ部会

畦畔実証圃雑草除去及び産業部会

環境部会

山菜栽培指導会

野上川ヨシ刈り

五十三名

(畑池地内)

野上川ヨシ集草

二十九名

ひょうたん加工技術講習会

十一名参加

あどがき

稲刈りも最盛期に入りましたが、この頃の天候不順で刈り取りも捗らないようです。七月中は梅雨の長雨と近年にない洪水で各地に被害が出ました。また八月は大変な暑い日が続き、昨年の年末から年始にかけて大雪の被害が出るなど気象の異常がめだちます。

これも地球温暖化が原因でしょうか。

早く天候が回復し秋の取り入れが、

順調に終わること祈りたいと思います。

